

第27回 関川流域委員会

第1回保倉川放水路治水対策・ 防災まちづくり検討部会の開催報告

令和6年12月2日

北陸地方整備局 高田河川国道事務所

関川流域委員会の専門部会として、保倉川放水路を中心とした治水対策やまちづくり、防災について検討、ご意見を頂くことを目的に、河川や地震、津波、まちづくりの専門家、学識者等からなる「保倉川放水路治水対策・防災まちづくり検討部会」を新たに設立し、この度第1回会議を開催しました。

開催日時： 令和6年11月13日（水） 13時30分～15時30分
 開催場所： ユートピアくびき希望館 多目的ホール

内 容： ●委員の紹介
 ●設立趣旨および規約（案）
 ●部会長の選出
 ●保倉川放水路事業の経緯
 ●本部会における検討事項
 ●今後の進め方

報道関係： 新聞社等 9社 一般傍聴： 32名



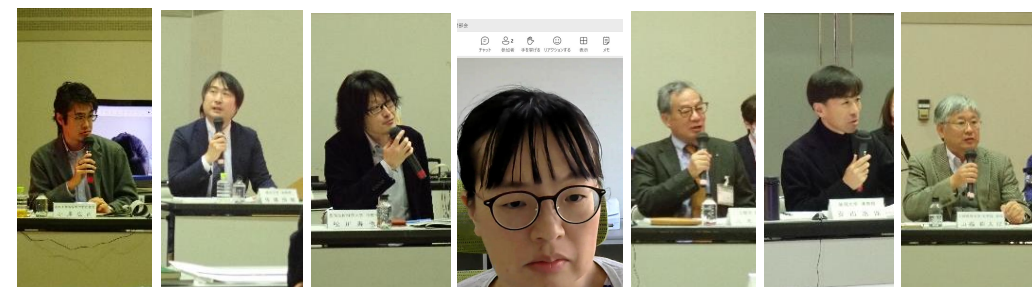
部会開催状況



小池部会長

保倉川放水路治水対策・防災まちづくり 検討部会 委員名簿

氏名	所属	備考
小池 俊雄	土木研究所 水災害・リスクマネジメント 国際センター センター長	河川工学
小澤 広直	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科 助教	景観デザイン
佐藤 翔輔	東北大学 災害科学国際研究所 准教授	防災まちづくり (津波、ソフト対応)
細山田得三	長岡技術科学大学 環境社会基盤系 教授	河川海岸工学 ご欠席
松川 寿也	長岡技術科学大学 環境社会基盤系 准教授	防災まちづくり (都市計画)
松田 曜子	京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 准教授	防災まちづくり (水害、ソフト対応)
八木 智学	上越市 副市長	行政
安田 浩保	新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授	河川工学
山縣耕太郎	上越教育大学 大学院 学校教育研究科 教授	環境・防災



小澤委員 佐藤委員 松川委員 松田委員 (WEB) 八木委員 安田委員 山縣委員

【主なご意見】

- まちづくり計画がアウトプットとなるが、そのまちづくりに盛り込まれるものは何か重要である。L2津波に対して、強靱で持続的な社会をどのようにデザインできるかが議論の中心のひとつとなる。
- 新潟県内の他の放水路の設計の考え方や工夫を改めてレビューした上で、保倉川放水路の議論ができると良い。
- 津波遡上のスピードや避難行動の時間を勘案して、避難施設を設置しなければならない場合、それは避難のためだけの避難施設ではもったいない。多機能なものを考えていければ良い。
- 上越市が進めている持続可能な都市づくりとの親和性を損ねないように検討を進める必要がある。
- 声をあげられる方ばかりが地域にいるわけではないので、小さな声あるいは声を上げられない方を含めて、不安の中身を見ていく、そういったお手伝いをしていきたい。
- 保倉川の治水安全度は低い状況であり、下流域にある多くの企業の経済活動、また市民の生命、財産を守る保倉川放水路事業を急ぐ必要があると認識。市民から頂いている放水路の整備に伴う懸念事項について、できるだけ早く対応し、上越市も、国、県の皆様と丁寧に地元の説明し、一刻も早い事業化をお願いする。
- 防災施設は多重に作っていくことが非常に大事。今回は都市計画も一緒にということで、放水路と一体になっていくことが重要である。
- 地域のコミュニティが持続できるよう検討を進め、防災によりマイナスとなることが無いよう進めていただきたい。

※五十音順、敬称略